

事務事業チェックシート

事務事業名称	男女共同参画フォーラム開催				事務事業コード	303010101			事業区分	実施計画			
事業期間	平成元年度～継続				担当所属名	女性交流支援センター							
事業の性質分類	○ ①ソフト関係事務事業(市民サービス)		④施設等の維持管理的な事務事業		根拠法令	男女共同参画社会基本法							
	②整備関係事務事業		⑤行政の内部管理事務事業		根拠条例	長岡京市立総合交流センター設置条例・長岡京市男女用同参画推進条例							
	③施設等の建設事務事業		⑥経常的な事務事業		必須業務の有無	無 内容:							
事業の経緯 (市民ニーズ・地域課題、これまでの対応)	男女共同参画社会の実現が求められるが、性別役割分担意識や性別に基づく不平等は、今なお存在している。制度や慣行を見直し意識改革を図るため、平成元年に「女性のつどい」を開催。その後名称を「男女共同参画フォーラム」に変更し、毎年取り組みを行っている。				これまでの成果	成果の内容	男女共同参画社会の実現に向けた市民意識の高揚						
						指標名	講演内容の理解度(講演会アンケート)						
事業目的	男女共同参画社会の理解を深め、市民の意識改革を促す。				対象者の状況	指標の推移	単位	H20実績	H21実績	H22実績			
						%	85	99	100				
事業概要／手法、内容(施設概要／規模、階数、建築年度など)	長岡京市男女共同参画フォーラム2010 ・日時 1月29日(土)13:30～15:30 参加者 約160名 ・場所 中央生涯学習センター3F メインホール ・講師 正木明さん テーマ「パパはお天気キャスター」 ・市民の若い世代の参加をしやすくするため、託児の対象を、乳児、幼児、小学校低学年と3段階のグループにしたことにより、参加世代が拡大できた。				対象者の推移	対象者名	フォーラム関係事業参加者(託児を含む)						
						単位	H20実績	H21実績	H22見込				
						人	220	230	220				
事業の位置づけ (総合計画、関連計画、緊急度など)	総合計画3-3-1 長岡京市男女共同参画計画 第4次計画				将来の動向	将来の動向	フォーラムに関する市民の参画を工夫しながら、増加を図る。						
						現状の分析 (事業の必要性、市の関与の妥当性、手法の適正など)	性別に関わりなく、誰もがその人らしく個性と能力が発揮され、伸びやかに生きられる男女共同参画社会の実現を目指すため、啓発活動が必要である。また、センター事業に関わる市民(女性)が、フォーラム開催の運営に参加することにより、主体的に活動する女性たちの育成とともに、女性たちのつながりが生まれ、社会参画が期待できる。						
【収入】	金額(円)／年度		H20決算	H21決算	H22予算		民間委託	委託の現状	無				
	使用料・手数料		0	0	0			市における類似事業(所属課)	受け皿の存在	イベント実施会社			
	国支出金(補助率)		0	0	0				市における類似事業(所属課)	無			
	府支出金(補助率)		180,000	190,000	218,000					近隣市町の状況	京都南部7市の殆どで、男女共同参画や女性の人権に関わるフォーラム等の事業を実施している。 城陽市:さんさんフェスタ 宇治市:あさぎりフェスティバル、女性の表現フェスティバル 向日市:女と男のいきいきフォーラム		
	その他()		0	0	0						国、府の補助金の動向	人権推進課経由で府補助金有り	
	合計		180,000	190,000	218,000					廃止したときの影響		男女共同参画社会実現の意識変革に向けての機会が減る。	
【支出】			H20実績	H21実績	H22見込		今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)	方向性:	現状維持				
	人件費	正規職員	従事人数(人)	0.1	0.1	0.1		その他の特記事項 (留意事項など)	男女共同参画社会実現に向けては、慣行、習慣からの意識改革が必要不可欠であり、今後も市民啓発の事業を展開していくことが必要である。				
		再任用・嘱託職員	従事人数(人)	0.6	0.6	0.6			無				
	科目	1	2	1	18	615	H20決算	H21決算		H22予算			
		事業費(予算・決算)		360,000	380,000	436,000							
	合計		2,870,000	2,890,000	2,946,000								
【収支】		H20実績		H21実績		H22見込							
一般財源充当額		2,690,000	2,700,000	2,728,000									
対象者あたり一般財源充当額		12,227	12,565	11,861									
主な事業費の詳細 (H22見込)	講師謝礼 300,000円												
	施設借上料 51,000円												
印刷製本費 36,000円													

事務事業チェックシート

事務事業名称	情報収集提供				事務事業コード	303010102			事業区分	一般	
事業期間	平成17年度～継続				担当所属名	女性交流支援センター					
事業の性質分類	○ ①ソフト関係事務事業(市民サービス)		④施設等の維持管理的な事務事業		根拠法令	男女共同参画社会基本法					
	②整備関係事務事業		⑤行政の内部管理事務事業		根拠条例	長岡京市立総合交流センター設置条例・長岡京市男女共同参画推進条例					
	③施設等の建設事務事業		⑥経常的な事務事業		必須業務の有無	無 内容:					
事業の経緯 (市民ニーズ・地域課題、これまでの対応)	女性が抱える悩みや問題の背景や解決につながる情報は、まだまだ一般的に出回っていない。問題解決の参考となる資料や図書を収集し、情報提供をしている。				これまでの成果	成果の内容	女性自身が、自分自身の問題解決のため、図書等から情報を得る。				
事業目的	女性自身が、問題を解決するための情報を得る。					指標名	図書の貸出冊数				
事業概要/手法、内容(施設概要/規模、階数、建築年度など)	<ul style="list-style-type: none"> ・女性のための情報と資料の提供及び支援 ・図書の貸出し(H21年度:貸出数329冊) ・女性問題の講座等のチラシの配架 ・インターネットでの閲覧サービス 					指標の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込	
					冊	319	329	350			
事業の位置づけ (総合計画、関連計画、緊急度など)	総合計画3-3-1 長岡京市男女共同参画計画 第4次計画				対象者名	来館者数(貸出者含む)					
					対象者の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込		
					人	2,051	2,126	2,300			
【収入】	金額(円)/年度				H20決算	H21決算	H22予算				
	使用料・手数料				0	0	0				
	国支出金(補助率)				0	0	0				
	府支出金(補助率)				0	0	0				
	その他()				0	0	0				
	合計				0	0	0				
【支出】					H20実績	H21実績	H22見込				
	人件費	正規職員	従事人数(人)		0.1	0.1	0.1				
		人件費			800,000	800,000	800,000				
	再任用・嘱託職員	従事人数(人)		0.3	0.3	0.3					
		人件費		810,000	810,000	810,000					
	科目	1	2	1	18	615	H20決算	H21決算	H22予算		
	事業費(予算・決算)				97,105	142,775	126,000				
	合計				1,707,105	1,752,775	1,736,000				
【収支】				H20実績	H21実績	H22見込					
一般財源充当額				1,707,105	1,752,775	1,736,000					
対象者あたり一般財源充当額				832	824	755					
主な事業費の詳細 (H22見込)	情報収集及び研修旅費 24,000円 図書費 40,000円				今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)	方向性:	現状維持				
					センターの規模から情報提供できる図書等は限られているが、ニーズにあった情報を追加しながら、充実を図っていく。						
				その他特記事項 (留意事項など)	無						

事務事業チェックシート

事務事業名称	女性の相談室				事務事業コード	303010201			事業区分	実施計画						
事業期間	平成3年度～継続				担当所属名	女性交流支援センター										
事業の性質分類	○	①ソフト関係事務事業(市民サービス)	④施設等の維持管理的な事務事業		根拠法令	男女共同参画社会基本法										
		②整備関係事務事業	⑤行政の内部管理事務事業		根拠条例	長岡京市立総合交流センター設置条例・長岡京市男女共同参画推進条例										
		③施設等の建設事務事業	⑥経常的な事務事業		必須業務の有無	無	内容:									
事業の経緯 (市民ニーズ・地域課題、これまでの対応)	男女共同参画社会の実現に向けて、相談者が自分を取巻く現状を整理し、様々な悩みや問題に対して、一歩が踏み出せるよう支援するため、平成3年度から「女ごころの相談室」、その後名称を「女性の相談室」に変更、合わせて平成17年度から「女性のための法律相談」も実施している。				これまでの成果	成果の内容	女性が一歩を踏み出す機会としての相談場所としての周知が進んでいる。									
						指標名	相談利用率(相談希望者数÷相談開設枠数)									
事業目的	相談者が悩みを整理し、解決のための情報を得て、自ら判断して、行動していく。				対象者の状況	指標の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込						
						%	92.0	100.0	92.0							
事業概要/手法、内容(施設概要/規模、階数、建築年度など)	・女性の総合相談 毎週木曜13:30～16:30 ・第2木曜10:00～12:00 ・女性のための法律相談 第4木曜10:00～12:00 一人ひとりの女性が自分自身や自分を取巻く現状に気づき、様々な悩みや問題に対して次の一歩が踏み出せるよう、女性の弁護士やカウンセラーが、法律相談、総合相談で支援する。				対象者の推移	対象者名	相談件数(事務局対応件数含む)									
						将来の動向	単位	H20実績	H21実績	H22見込						
							件	(2枠増)222	245	250						
事業の位置づけ (総合計画、関連計画、緊急度など)	総合計画3-3-1 長岡京市男女共同参画計画 第4次計画				現状の分析 (事業の必要性、市の関与の妥当性、手法の適正など)	年々相談件数は増えている。安心して相談していい場所として周知が進んでいるところであるが、DVをはじめとする女性への人権侵害はまだ日常的に存在している。女性の抱えている問題や悩みの多くは個人的なものではなく、その背景に社会構造上の問題があるといえる。男女共同参画社会実現に向けて、市の責務として施策を進めていく必要がある。										
【収入】	金額(円)/年度		H20決算	H21決算	H22予算	民間委託	委託の現状	法律相談は、京都弁護士会へ委託。総合相談は、専門相談員と直接契約。								
	使用料・手数料		0	0	0		受け皿の存在	民間カウンセリング機関								
	国支出金(補助率)		0	0	0		市における類似事業(所属課)	専門員による市民相談、人権相談所開設(情報管理課)								
	府支出金(補助率)		0	0	0											
	その他		0	0	0											
合計		0	0	0	近隣市町の状況	京都南部7市すべてが女性の相談を行っている。また、法律相談は、宇治市、城陽市、京田辺市が実施。										
【支出】	人件費	正規職員	従事人数(人)	0.1							0.1	0.1				
		再任用・嘱託職員	従事人数(人)	0.4							0.4	0.4				
	人件費		1,080,000	1,080,000							1,080,000	国、府の補助金の動向	無			
	科目	1	2	1							18					
事業費(予算・決算)		1,277,719	1,216,700	1,189,000	廃止したときの影響	法律をはじめ、相談機関は男性が多く、女性の視点で対応されていない現状がある。女性が身近に相談できなくなり、悩みや問題を解決できない。										
合計		3,157,719	3,096,700	3,069,000												
【収支】	一般財源充当額		H20実績	H21実績	H22見込	今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)	方向性:	現状維持								
対象者あたり一般財源充当額		14,325	12,640	12,276	相談予約が1カ月以内に出来るためには、相談利用率が95%以内が適当と考える。平成20年度に午前の相談日(2枠)を増設し、利用状況を保っている。											
主な事業費の詳細 (H22見込)	総合相談カウンセラー謝礼		879,000円		その他特記事項 (留意事項など)	無										
	法律相談業務委託料		300,000円													

事務事業チェックシート

事務事業名称	女性交流支援センター管理運営				事務事業コード	303010202			事業区分	一般		
事業期間	平成17年度～継続				担当所属名	女性交流支援センター						
事業の性質分類	①ソフト関係事務事業(市民サービス)	○	④施設等の維持管理的な事務事業		根拠法令	男女共同参画社会基本法						
	②整備関係事務事業		⑤行政の内部管理事務事業		根拠条例	長岡京市立総合交流センター設置条例・長岡京市男女共同参画推進条例						
	③施設等の建設事務事業		⑥経常的な事務事業		必須業務の有無	無	内容:					
事業の経緯 (市民ニーズ・地域課題、これまでの対応)	市民が男女平等についての理解と関心をもち、制度や慣行を見直し、意識改革を図るとともに、女性自身が生き方を考え行動するための拠点施設が必要なため、平成17年4月に本センターを開設した。				これまでの成果	成果の内容	女性が自分で判断し行動していくために、センターが行っている事業を利用する女性たちが増えている。					
事業目的	さまざまな事業を通して、女性のエンパワーメントを支援する。					指標名	来館者数					
事業概要/手法、 内容(施設概要/ 規模、階数、 建築年度など)	直営、平成17年4月開設 総合交流センター 6階の1室(総面積:95.88㎡)					指標の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込		
					人	2,051	2,126	2,300				
事業の位置づけ (総合計画、関連計画、緊急度など)	総合計画3-3-1 長岡京市男女共同参画計画 第4次計画				対象者の状況	対象者名	全市民					
						対象者の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込		
						人	79,113	79,449	79,742			
【収入】	金額(円)/年度		H20決算	H21決算	H22予算	現状の分析 (事業の必要性、市の関与の妥当性、手法の適正など)	女性を支援し、男女共同参画社会の推進を目指す、市の姿勢が明確になっている。また、各事業の「現状の分析」から、施設管理のみの委託は合理的ではない。					
	使用料・手数料		0	0	0							
	国支出金(補助率)		0	0	0							
	府支出金(補助率)		0	0	0							
	その他()		0	0	0							
	合計		0	0	0							
【支出】			H20実績	H21実績	H22見込	民間委託	委託の現状	無				
							受け皿の存在	民間団体、NPO団体				
	人件費	正規職員	従事人数(人)	0.1	0.1	0.1	市における類似事業(所属課)	無				
			人件費	800,000	800,000	800,000						
		再任用・嘱託職員	従事人数(人)	0.3	0.3	0.3						
	人件費		945,000	945,000	945,000	近隣市町の状況	京都府南部7市中6市で、「女性」または「男女共同参画」の名称を使った施設を有し、事業を取組んでいる。					
	科目	1	2	1	18	615	H20決算	H21決算	H22予算	国、府の補助金の動向	無	
	事業費(予算・決算)		3,063,633		2,882,376		3,102,000					
合計		4,808,633		4,627,376		4,847,000						
【収支】			H20実績	H21実績	H22見込	廃止したときの影響	全国的に取組んでいる、男女共同参画社会の推進から後退する。					
一般財源充当額		4,808,633		4,627,376							4,847,000	
対象者あたり一般財源充当額		2,345		2,107							2,107	
主な事業費の詳細 (H22見込)	アルバイト賃金		864,000円		今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)	方向性:	現状維持					
	消耗品、電気代		182,000円			センターの規模としては、図書室や講座室、また保育ルームもないが、規模を拡大するにはコストがかかるため、生涯学習センターを利用しながら事業を充実していくことが望ましい。						
	電話代等		296,000円				その他特記事項 (留意事項など)	無				
施設管理委託料		338,000円										
複写機使用料		214,000円										
施設共用部管理費負担金		1,216,000円										

事務事業チェックシート

事務事業名称		女性支援啓発			事務事業コード	303010204			事業区分	一般			
事業期間		平成17年度～継続			担当所属名	女性交流支援センター							
事業の性質分類	○	①ソフト関係事務事業(市民サービス)	④施設等の維持管理的な事務事業		根拠法令	男女共同参画社会基本法							
		②整備関係事務事業	⑤行政の内部管理事務事業		根拠条例	長岡京市立総合交流センター設置条例・長岡京市男女共同参画推進条例							
		③施設等の建設事務事業	⑥経常的な事務事業		必須業務の有無	無 内容:							
事業の経緯 (市民ニーズ・地域課題、これまでの対応)	女性の悩みや問題の多くは個人的なものではなく、その背景に社会構造上の問題があるため、社会問題として啓発する。また、女性が自分らしく生きるために、奪われてきた力を取り戻したり、自立支援に関わる講座を行っている。				これまでの成果	成果の内容	女性が社会問題として女性の置かれている状況に気づき、自分たちで考え行動できるような機会を提供することができた。						
事業目的	女性たちが問題に気づき、主体的に解決する。					指標名	講座等実施回数						
事業概要／手法、内容(施設概要／規模、階数、建築年度など)	男女共同参画社会実現のため、女性が本来持っている力を取り戻し、知識、気づき、スキルを身につけられるような講座を開催。 ・男女共同参画週間事業推進講座 ・女性のための元気力アップ講座(全2回)実施 ・女性のためのステップセミナー(全5回)実施 ・女性に対する暴力をなくす啓発講座 ・子育て支援講座				対象者の状況	対象者名	主催事業参加者(託児関係も含む)						
						対象者の推移	単位	H20実績	H21実績	H22見込			
事業の位置づけ (総合計画、関連計画、緊急度など)	総合計画3-3-1 長岡京市男女共同参画計画 第4次計画				現状の分析 (事業の必要性、市の関与の妥当性、手法の適正など)	将来の動向	世代ごとの関心事に合わせての講座やタイトルの工夫により増加傾向にある。						
【収入】	金額(円)／年度		H20決算	H21決算		女性の悩みが社会問題であることに気づき、自分の感情を取り戻したり、自分の人生を生きることを考え、行動していくため、講座やワークショップなどを行う必要がある。センター内で少人数を対象の講座は、嘱託職員(アドバイザー)が講師を務めている。また、講師依頼をしている講座については、委託等も考えられるが、職員が直接交渉するより費用はかかる。							
	使用料・手数料		0	0	民間委託	委託の現状	無						
	国支出金(補助率)		0	0		受け皿の存在	市民団体やNPO等						
	府支出金(補助率)		15,000	159,000	市における類似事業(所属課)		定期講座開設、各種団体・サークル等活動支援(公民館)						
	その他		0	0	近隣市町の状況		京都府下のほとんどが施設の有無にかかわらず女性問題の講座を行っている。						
	合計		15,000	159,000	202,000	国の補助金の動向	人権推進課経由で府補助金有り						
【支出】	人件費	正規職員	従事人数(人)	0.1	H20実績	H21実績	H22見込		廃止したときの影響	女性の置かれている現状に気づき、解決していく機会が少なくなる。			
		再任用・嘱託職員	従事人数(人)	0.7	0.1	0.1	0.1						
	科目	1	2	1	18	615	H20決算	H21決算	H22予算		今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)	方向性:	現状維持
		事業費(予算・決算)		136,000	347,485	404,000	国、府の補助金の動向		世代やライフステージなど状況によって抱える問題も違うため、様々な女性の悩みや問題をテーマに、支援講座をしていく必要がある。				
合計		2,871,000	3,082,484	3,139,000	廃止したときの影響		女性の置かれている現状に気づき、解決していく機会が少なくなる。						
【収支】		H20実績		H21実績		H22見込		今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)					
一般財源充当額		2,856,000	2,923,484	2,937,000		今後の方向性 (現状維持・拡大・縮小・統合・廃止など)		世代やライフステージなど状況によって抱える問題も違うため、様々な女性の悩みや問題をテーマに、支援講座をしていく必要がある。					
対象者あたり一般財源充当額		9,520	4,112	3,916		その他の特記事項 (留意事項など)		無					
主な事業費の詳細 (H22見込)	講師謝礼	285,000円											
	保育サポーター謝礼	75,000円											
	施設等借上料	35,000円											